

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330332067	子どもの健康と安全 Child health and safety	田村 佳世	○	専門	1	選択	3後期

科目の概要

保育所で保育士として10年勤めた経験を活かし、保育における具体的な場面指導や子ども理解の指導を行っていく。特にこの科目では、保育の原点である子どもの命を守り、子どもの健やかな育ちを支えることを理解し、一人ひとりの子どもの心身の状態や発達、特性、個性、にそった保育によって子どもの健康は保たれることを具体的に学ぶ。

学修内容	到達目標
① 保健的観点を踏まえた保育環境及び援助について学ぶ。 ② 保育における健康及び安全の管理について学ぶ。 ③ 子どもの体調不良に対する適切な対応について学ぶ。 ④ 感染症対応について学ぶ。 ⑤ 保育における保健的対応について学ぶ、また健康及び安全の管理の実施体制について学ぶ。	① 保健的観点を踏まえた保育環境及び援助について理解する。 ② 衛生管理・安全対策・危機管理・災害の備えについて理解する。 ③ 体調不良に対する適切な対応や応急処置の方法を知る。 ④ 感染症の集団発生の予防について理解する。 ⑤ 3歳未満児や障がいのある子どもへの対応を知り、職員間の連携・協働、自治体・関係機関との連携について理解する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	他科目の学びを振り返りつつ、新たな見解、深い学びができるように予習、復習など自主的な学びを行うことができる。
	働きかけ力	自分の意見を他者に対して積極的に語りかけ、話し合いをしていくことができる。
	実行力	課題に対し積極的な自主学修をし、計画的に完成させることができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもの安全と安心を保障する保育の知識と実践力を習得するために、保育者としての視点で常に問題意識をもち、自己課題を見出していく姿勢を持つことができる。
	計画力	課題等に計画的に取り組み、余裕をもって完成させることができる。
	創造力	困難な問題に対しても、調べたり、相談したり、聞いたりしながら、自分なりに考え、最善の答えを見つけ出すことができる。
チームで働く力	発信力	授業中に他者が理解しやすいように、自分の意見を整理しながら述べるができる。
	傾聴力	他者の意見を受け止め、自分の意見との共通点、相違点を肯定的に受け止めることができる。
	柔軟性	グループワーク等において他者の言動を受け止め、よりよい考え、方法を導き出していくことができる。
	状況把握力	グループワーク等において、自分の役割を判断し、的確な言動ができる。
	規律性	無断欠席することなく授業に臨むことができる。課題等の期限を守って提出することができる。
	ストレスコントロール力	発表等苦手なことに対しても、準備をしっかりと行ってあきらめずに臨むことができる。感情的に意見が対立した場合も自身の感情を抑制し、冷静になることができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：「保育の場で生きる 子どもの健康と安全」建帛社 (著) 高内正子、梶美穂
 参考文献：「保育所保育指針解説」、「保育の場で役立つ 食物アレルギー対応—職種間連携から考える—」建帛社 (編著) 小野内初美・朴賢晶

他科目との関連、資格との関連

子どもの健康と安全 (330332067) は学科専門科目の幼・保領域「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けられ、保育内容(健康)、乳児保育Ⅰ・Ⅱ、子どもの健康Ⅰ・Ⅱで修得した知識、実践力を基とし、保育実習Ⅱ、保育実践演習の基礎となる科目である。
 また子どもの健康と安全は、保育士資格に必要な科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者として必ずおさえておきたい基本的な事項や、特に重要な内容を学ぶ。 ・実際に役立つ知識や考える力を養う。 ・近年の動向、関連領域の知識など、発展的な内容を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習、発表、グループワーク等、アクティブラーニング形式での授業に意欲を持って参加すること。 ・保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に臨むこと。 ・課題等は期限を守って提出すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	50	①	✓	筆記試験 ・子どもの健康と保育の安全管理について理解していること（10点）。 ・子どもの健康と発達について正しい知識を身につけていること（10点）。 ・子どもの感染症やケガにたいする保育における留意点について理解していること（10点）。 ・子どもの事故防止と危機管理について理解していること（10点）。 ・保育者としての安全管理に関する連携について理解していること（10点）。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
平常評価	レポート	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓	・エビペンの使い方について実践できること（10点）。 ・危機対応について正しい手順で行えること（10点）。 ・保護者対応について保育者の責務を理解して実践できること（10点）。 ・実践での振り返りを行い、自己課題を見つけて改善する姿勢があること（10点）。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）他科目の学びを振り返りつつ、新たな見解、深い学びができるように予習、復習など自主的な学びを行うことができること。 （働きかけ力）自分の意見を他者に対して積極的に語りかけ、話し合いをしていくことができること。 （実行力）課題に対し積極的な自主学修をし、計画的に完成させることができること。 （課題発見力）子どもの安全と安心を保障する保育の知識と実践力を習得するために、保育者としての視点で常に問題意識をもち、自己課題を見出ししていく姿勢を持つことができること。 （計画力）課題等に計画的に取り組み、提出期限を守ることができること。 （創造力）困難な問題に対しても、調べたり、相談したり、聞いたりしながら、自分なりに考え、最善の答えを見つけて出すことができること。 （発信力）授業中に他者が理解しやすいように、自分の意見を整理しながら述べるができること。 （傾聴力）他者の意見を受け止め、自分の意見との共通点、相違点を肯定的に受け止めることができること。 （柔軟性）グループワーク等において他者の言動を受け止め、よりよい考え、方法を導き出ししていくことができること。 （状況把握力）グループワーク等において、自分の役割を判断し、的確な言動ができること。 （規律性）無断欠席することなく授業に臨むことができる。課題等の期限を守って提出することができること。 （ストレスコントロール力）発表等苦手なことに対しても、準備をしっかりと行ってあきらめずに臨むことができること。 感情的に意見が対立した場合も自身の感情を抑制し、冷静になることができること。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・新聞やニュースなどのテキスト以外の文献からも主体的に学び、保育者としての視点で危機管理について問題意識が持てる。 ・危機管理におけるマニュアル、保育の留意点や具体的な手順など理解し具体的に記し、危機意識を高く持って実践することができる。	・保育者としての視点で危機管理について問題意識が持てる。 ・危機管理におけるマニュアル、保育の留意点や具体的な手順など理解し記し、実践することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」 ・保育の安全と安心について	講義 グループワーク (AL) Googleforms活用 (ICT)	・保育の安全と安心についての基礎的視点が理解できる。	(予習) 領域「健康」のねらいを読んで復習する。 (復習) 領域「健康」の要点をまとめる (Googlefoams)。	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
2	「子どもの健康と保育の環境」 ・保育の環境の視点について ・子どもの健康管理と安全管理について ・保育所保育指針「第3章 健康及び安全」について	講義 グループワーク・ディスカッション (AL) フィードバックとして Googleforms活用 (ICT)	・保育の環境の視点についての基礎的視点が理解できる。 ・子どもの健康管理と安全管理についての基礎的視点が理解できる。 ・保育所保育指針「第3章 健康及び安全」についての基礎的視点が理解できる。	(予習) 教科書第1章「子どもの健康と保険」、保育所保育指針第3章を読んで概要を理解 (復習) 保育所保育指針「第3章 健康及び安全」の要点をまとめる (Googlefoams)。	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
3	「子どもの健康支援」 ・健康状態の把握について ・子どもの発達と測定方法について ・保健計画について	講義 グループワーク・ディスカッション (AL) フィードバックとして Googleforms活用 (ICT)	・健康状態の把握についての基礎的視点が理解できる。 ・子どもの発達と測定方法についての基礎的視点が理解できる。 ・保健計画についての基礎的視点が理解できる。 ・子どもの発達と測定方法についての基礎的視点が理解できる。 ・保健計画についての基礎的視点が理解できる。	(予習) 教科書第2章「子どもの健康支援」を読んで概要を理解 (復習) 保健計画の留意点についてまとめる (Googlefoams)。	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
4	「保育における保健的対応」 ・3歳未満児に対する対応と留意点について ・3歳以上児に対する対応と留意点について ・個別な配慮を要する子どもへの対応について	講義 グループワーク・ディスカッション (AL) フィードバックとして Googleforms活用 (ICT)	・3歳未満児に対する対応と留意点についての基礎的視点が理解できる。 ・3歳以上児に対する対応と留意点についての基礎的視点が理解できる。 ・個別な配慮を要する子どもへの対応についての基礎的視点が理解できる。	(予習) 教科書第4章「保育における保健的対応」を読んで概要を理解 (復習) 「3歳未満児、3歳以上の対応と留意点」の要点をまとめる (Googlefoams)。	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 状況把握力
5	「事故防止及び安全管理」 ・子どもの事故について ・保育の危機管理体制について ・ガイドライン、マニュアルについて	講義 グループワーク・ディスカッション (AL) フィードバックとして Googleforms活用 (ICT)	・子どもの事故についての基礎的視点が理解できる。 ・保育の危機管理体制についての基礎的視点が理解できる。 ・ガイドライン、マニュアルについての基礎的視点が理解できる。	(予習) 教科書第5章「事故防止および完全対策」を読んで概要を理解 (復習) 「保育の危機管理体制」の要点をまとめる (Googlefoams)。	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 状況把握力
6	「子どもの病気とケガ」 ・子どものかかりやすい疾病、感染症と対応について ・ケガに対する応急手当の方法と手順について ・救急手当と危機管理について	講義 グループワーク・ディスカッション (AL) フィードバックとして Googleforms活用 (ICT)	・子どものかかりやすい疾病、感染症と対応についての基礎的視点が理解できる。 ・ケガに対する応急手当の方法と手順についての基礎的視点が理解できる。 ・救急手当と危機管理についての基礎的視点が理解できる。	(予習) 教科書第6章「子どもの体調不良等に対する適切な対応」読んで概要を理解 (復習) 「応急手当の方法と手順」の要点をまとめる (Googlefoams)。	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
7	「災害時の備え」 ・避難訓練について ・災害対策と安全点検について	講義 グループワーク・ディスカッション (AL) フィードバックとして Googleforms活用 (ICT)	・避難訓練についての基礎的視点が理解できる。 ・災害対策と安全点検についての基礎的視点が理解できる。	(予習) 教科書第7章「災害への備え」を読んで概要を理解 (復習) 「避難訓練についての留意点」の要点をまとめる (Googlefoams)。	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
8	「安全管理の連携と協働的取り組み」 ・職員間の連携と協働について ・地域や専門機関との連携と協働について ・保護者対応について ・食物アレルギー対応 (エビペンの使用方法) について	講義 グループワーク・ディスカッション (AL) フィードバックとして Googleforms活用 (ICT)	・職員間の連携と協働についての基礎的視点が理解できる。 ・地域や専門機関との連携と協働についての基礎的視点が理解できる。 ・保護者対応についての基礎的視点が理解できる。 ・エビペン使用方法、手順がわかる。	(予習) 教科書第8章「健康および安全管理の実施体制」を読んで概要を理解 (復習) 「安全管理に関する保護者対応」の要点をまとめる (Googlefoams)。	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「保育実践①」 ・ペープサートを使った手洗い、うがい指導について	演習 グループワーク・ディスカッション (AL) フィードバックとして Googleforms活用 (ICT)	・ペープサートを使った手洗い、うがい指導について実践または発表をみて子どもへの保育的指導方法が理解できる。	(予習) 手洗い・うがい指導に関する資料収集・発表準備 (復習) 「手洗い・うがい指導」の要点をまとめる (Googlefoams)。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	「保育実践②」 ・ペープサートを使った歯みがき指導について	演習 グループワーク・ディスカッション (AL) フィードバックとして Googleforms活用 (ICT)	・ペープサートを使った歯みがき指導について実践または発表をみて子どもへの保育的指導方法が理解できる。	(予習) 歯みがき指導に関する資料収集・発表準備 (復習) 「歯みがき指導」の要点をまとめる (Googlefoams)。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	「保育実践③」 ・ペープサートを使った避難訓練(地震・火事)指導について	演習 グループワーク・ディスカッション (AL) フィードバックとして Googleforms活用 (ICT)	・ペープサートを使った避難訓練(地震・火事)指導について実践または発表をみて子どもへの保育的指導方法が理解できる。	(予習) 避難訓練(地震・火事)指導に関する資料収集・発表準備 (復習) 「避難訓練(地震・火事)指導」の要点をまとめる (Googlefoams)。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	「保育実践④」 ・ペープサートを使った避難訓練指導(不審者)について	演習 グループワーク・ディスカッション (AL) フィードバックとして Googleforms活用 (ICT)	・ペープサートを使った避難訓練(不審者)指導について実践または発表をみて子どもへの保育的指導方法が理解できる。	(予習) 避難訓練指導(不審者)に関する資料収集・発表準備 (復習) 「避難訓練指導(不審者)」の要点をまとめる (Googlefoams)。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	「保育実践⑤」 ・ペープサートを使ったケガ予防指導について	演習 グループワーク・ディスカッション (AL) フィードバックとして Googleforms活用 (ICT)	・ペープサートを使ったケガ予防指導について実践または発表をみて子どもへの保育的指導方法が理解できる。	(予習) ケガ予防指導に関する資料収集・発表準備 (復習) 「ケガ予防指導」の要点をまとめる (Googlefoams)。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	「保育実践⑥」 ・ペープサートを使った交通安全指導について	演習 グループワーク・ディスカッション (AL) フィードバックとして Googleforms活用 (ICT)	・ペープサートを使った交通安全指導について実践または発表をみて子どもへの保育的指導方法が理解できる。	(予習) 交通安全指導に関する資料収集・発表準備 (復習) 「交通安全指導」の要点をまとめる (Googlefoams)。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	「まとめ」 ・基礎知識、実践の振り返り	演習 グループワーク・ディスカッション (AL) フィードバックとして Googleforms活用 (ICT)	・子どもの健康と安全に関する疾病、ケガ、障がい等に関する基礎知識、実践を振り返り、保育者として必要な実践ができる。	(予習) 子どもの健康と安全に関する保育者の責任について自分の意見をまとめてくる。 (復習) 「子どもの健康と安全」に関する保育者の役割についてまとめる (Googlefoams)。	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力